

企業等における交通事故・違反と安全運転管理の実態に関する調査研究（平成5年度）

企業等における交通事故・違反と交通安全運転管理の実態と問題点を把握し、企業における交通事故防止を図ることを目的として、アンケート調査等を行った。

- ① 20 都道府県から各 100 事業所、合計 2,000 事業所（「一般事業所」という）及び自動車安全運転センターの安全運転中央研修所の安全運転管理者課程を受講した事業所 500 事業所（「受講事業所」という）を対象に調査を行った。安全運転管理者の業務は、一般事業所では「事故後の処置」、受講事業所では「事故運転者の指導」の比率が高い。運転者を対象とした朝礼を実施しているのは一般事業所で 31%、受講事業所で 43%、安全運転管理者等が運転者に毎日注意事項を伝えているのは一般事業所で 15%、受講事業所で 27%、作業点検を毎日実施しているのは一般事業所で 38%、講習受講事業所で 59%である。
- ② 安全運転教育を実施しているのは一般事業所で 58%、受講事業所で 75%である。運転経歴証明書はほとんどの事業所が知っており、利用したことがあるのは一般事業所で 71%、講習受講事業所で 74%である。車両の運転に対して「許可制度なく自由」は一般事業所で 52%、講習受講事業所で 41%である。優良運転者の表彰制度があるのは、一般事業所で 45%、受講事業所で 57%である。平成 4 年度の安全運転管理のための費用は、一般事業所が 28 万円強、受講事業所が約 72 万 7 千円である。
- ③ 過去 3 年半に死亡事故があったのは一般事業所が 4.1%、受講事業所が 6.6%で、運転者千人当たりの事故件数を算出すると、一般事業所が 1.3 件、講習受講事業所が 1.6 件となる。
- ④ 一般事業所で安全運転中央研修所を知っている比率は 64%で、利用したことがあるのは 7.1%である。

図 安全運転管理者課程の研修受講後の改善点 (n=290)

⑤ 受講事業所で安全運転管理者課程を最初に知ったきっかけは「安全運転管理者協議会の紹介」「安全運転管理者研修の場で知った」が多い。研修項目では「スキッドコントロール」「基本走行」「模擬市街路における危険の予測と回避」の評価が高いたまた、受講事業所の安全運転管理者課程の総合評価では、「非常に良かった」が 58%、「良かった」が 32%であった。また、研修受講後、安全のための改善や点検が行われている（表）。

